



## 平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月4日

上場取引所 東大

上場会社名 グンゼ株式会社

コード番号 3002 URL <http://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平田 弘

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部 広報IR室長 (氏名) 富岡 修

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	67,228	△1.7	1,667	47.9	1,808	34.4	719	51.7
22年3月期第2四半期	68,416	△11.0	1,127	△55.0	1,345	△49.1	474	△58.6

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	3.68	3.67	3.67	3.67
22年3月期第2四半期	2.41	2.40	2.40	2.40

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
23年3月期第2四半期	168,463	112,310	112,310	66.2	66.2	577.08	577.08	
22年3月期	168,768	117,556	117,556	69.2	69.2	592.02	592.02	

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 111,489百万円 22年3月期 116,748百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	7.50	7.50
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	7.50	7.50

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

### 3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	140,800	1.9	3,500	78.3	3,800	50.0	2,000	137.8	10.28

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3～4「2.その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 209,935,165株 22年3月期 209,935,165株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 16,738,050株 22年3月期 12,730,729株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 195,772,433株 22年3月期2Q 197,206,006株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
4. 補足情報 .....	12
(1) 生産、受注及び販売の状況 .....	12
(2) 四半期決算補足説明資料 .....	13

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日～平成22年9月30日）のわが国経済は、エコカー減税やエコポイント等の需要喚起策や猛暑特需、新興国向け輸出の拡大など一部の業種に回復傾向が見られましたが、期間後半は雇用情勢や所得低迷に加え、急激な円高や株安等もあり、先行きの不透明感が払拭されない状況が続きました。

アパレル事業においては、デフレの継続、実質所得の減少などから消費者の生活防衛型消費や節約志向がさらに強まる中で、個人消費の低迷や価格競争の激化など、引き続き厳しい状況で推移しました。

機能ソリューション事業においては、設備投資の回復や猛暑による特需などから、受注は改善しましたが、デフレ経済下での原料・コスト高と製品安問題に加え、急激な円高による輸出競争力の低下と採算悪化などの不安要素を抱えています。

このような状況のなかで、当社グループは（1）新しい事業構造への変革、（2）グローバル経営の積極推進、（3）スリムで効率的な経営体質の実現に重点的に取り組んでまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は67,228百万円（前年同期比1.7%減）、営業利益は1,667百万円（前年同期比47.9%増）、経常利益は1,808百万円（前年同期比34.4%増）、四半期純利益は719百万円（前年同期比51.7%増）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### <アパレル事業>

インナーウェア分野は、市場ではPB（プライベートブランド）を含むシーズン機能商品が大幅拡大するなか、フルリニューアルした「ボディワイルド」が健闘しましたが、NB（ナショナルブランド）ベーシック商品が落ち込むとともに、猛暑による秋物商品の販売不振などから苦戦しました。レグウェア分野では、ストッキング、ソックスの既存カテゴリは苦戦しましたが、シーズン素材や機能性を付加したトレンド商材（レギンス・トレンカ・フットカバー）の拡販やコストダウンの推進などにより、減収ながら増益となりました。以上の結果、アパレル事業の売上高は36,682百万円（前年同期比7.4%減）、営業利益は504百万円（前年同期比52.9%減）となりました。

#### <機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野では、野菜の価格高騰による廉価食材や小分け販売の増加に伴いOPPフィルムの防曇タイプが販売増となり、飲料向けフィルムも猛暑の影響から好調に推移したこと等から増収増益となりました。エンジニアリングプラスチックス分野では、昨年の厳しい状況から一転してユーザーであるOA機器セットメーカーからの受注が拡大し増収増益となりました。電子部品分野は、市況の回復により増収となったものの本格的な業績回復には至りませんでした。今後の主力商品と位置づける透過型静電容量タッチパネルの引き合いが急増しており、これに対応すべく他社とのコラボレーションを含むグローバルネットワークの構築を進めております。メディカル分野は、中国での骨接合材、韓国・中国での縫合補強材が順調に推移したことから増収増益となりました。以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は24,672百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益は2,159百万円（前年同期比93.6%増）となりました。

#### <ライフクリエイイト事業>

不動産関連分野は、商業施設「グンゼ タウンセンター つかしん」が消費低迷と競争激化による厳しい環境の中、顧客満足度の向上と地域密着型の販売促進に取り組み、前年同期並みの集客を確保しました。スポーツクラブ分野は、スクール会員をはじめ新規会員獲得や経費削減により堅調に推移し、増収増益となりました。以上の結果、ライフクリエイイト事業の売上高は6,497百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益は664百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、168,463百万円となり、前連結会計年度末に比べ305百万円減少しました。主な減少要因は、投資有価証券の減少4,798百万円であり、主な増加要因は、受取手形及び売掛金の増加2,414百万円、投

資その他の資産「その他」の増加1,809百万円(繰延税金資産の増加)であります。

負債は、56,152百万円となり、前連結会計年度末に比べ4,940百万円増加しました。主な増加要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金の増加4,942百万円であります。

純資産は、112,310百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,245百万円減少しました。主な減少要因は、株主還元による減少2,642百万円(配当1,479百万円、自己株式取得1,163百万円)及びその他有価証券評価差額金の減少2,634百万円であります。

(キャッシュ・フローについて)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ505百万円増加し、6,001百万円となりました。当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況と主な要因は次のとおりであります。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して4,216百万円減少し2,165百万円となりました。主なキャッシュ・インの要因は税金等調整前四半期純利益1,245百万円、減価償却費3,861百万円であり、主なキャッシュ・アウトの要因は売上債権の増加2,442百万円であります。

投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、前年同期と比較して246百万円減少し3,977百万円となりました。主なキャッシュ・アウトの要因は機能ソリューション事業の設備投資など固定資産の取得による支出4,044百万円であります。

財務活動によって得られたキャッシュ・フローは、2,402百万円(前年同期は4,965百万円の支出)となりました。主なキャッシュ・インの要因は短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増加3,462百万円、長期借入れによる収入2,900百万円、主なキャッシュ・アウトの要因は配当金の支払1,469百万円、長期借入れの返済による支出1,300百万円、自己株式の取得による支出1,163百万円であります。

**(3) 連結業績予想に関する定性的情報**

当第2四半期連結累計期間の業績が、売上高についてはアパレル事業の市場競争激化や個人消費の低迷などにより低調に推移しているものの、利益面では、機能ソリューション事業の業績回復により概ね想定範囲内で推移していることから、下記のとおり通期連結業績予想について売上高のみ修正しております。なお、自己株式数の変動に伴い1株当たり当期純利益については変更しております。

また、配当につきましては当初予想通り1株当たり年間7円50銭から変更しておりません。

平成23年3月期通期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想(A)	142,000	3,500	3,800	2,000	10.27
今回予想(B)	140,800	3,500	3,800	2,000	10.28
増減額(B-A)	△1,200	—	—	—	—
増減率	△0.8%	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成22年3月期)	138,116	1,963	2,534	841	4.27

**2. その他の情報**

- (1) 重要な子会社の異動の概要(連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

(簡便な会計処理)

- ①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④繰延税金資産の回収可能性の判断

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

⑤退職給付引当金の計算

期首に算定した年間の退職給付費用を期間按分した額を計上しております。数理計算上の差異は年間費用処理額を期間按分した額を計上しております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理)

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

そのため、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

(会計方針の変更)

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1 四半期連結会計期間より、「資産除去に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

この変更により、従来の方法に比べ、当第2 四半期連結累計期間の営業利益、経常利益は2 百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は65 百万円減少しております。

(表示方法の変更)

四半期連結損益計算書関係

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第2 四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

(追加情報)

第1 四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,001	5,496
受取手形及び売掛金	29,556	27,141
商品及び製品	18,577	19,291
仕掛品	6,808	6,087
原材料及び貯蔵品	4,973	4,606
その他	4,603	4,294
貸倒引当金	△45	△54
流動資産合計	70,473	66,864
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	37,956	38,913
機械装置及び運搬具（純額）	12,883	14,231
土地	12,037	12,067
その他（純額）	5,579	5,337
有形固定資産合計	68,457	70,550
無形固定資産	2,335	1,352
投資その他の資産		
投資有価証券	15,992	20,791
その他	11,402	9,593
貸倒引当金	△198	△383
投資その他の資産合計	27,196	30,001
固定資産合計	97,990	101,904
資産合計	168,463	168,768

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,329	8,398
短期借入金	4,242	4,399
コマーシャル・ペーパー	13,000	9,500
1年内返済予定の長期借入金	1,000	1,525
未払法人税等	582	478
賞与引当金	1,422	1,430
その他	7,570	8,117
流動負債合計	37,146	33,849
固定負債		
長期借入金	4,950	2,825
退職給付引当金	4,370	5,040
長期預り敷金保証金	8,953	9,024
その他	733	473
固定負債合計	19,006	17,363
負債合計	56,152	51,212
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	14,083	14,085
利益剰余金	78,960	79,727
自己株式	△7,249	△6,089
株主資本合計	111,865	113,794
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,154	4,788
繰延ヘッジ損益	△528	△254
土地再評価差額金	△400	△400
為替換算調整勘定	△1,600	△1,179
評価・換算差額等合計	△376	2,953
新株予約権	183	149
少数株主持分	638	658
純資産合計	112,310	117,556
負債純資産合計	168,463	168,768



(2) 四半期連結損益計算書  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	68,416	67,228
売上原価	50,218	48,871
売上総利益	18,197	18,357
販売費及び一般管理費	17,070	16,690
営業利益	1,127	1,667
営業外収益		
受取利息	14	12
受取配当金	214	209
固定資産賃貸料	200	295
為替差益	13	—
投資有価証券割当益	—	145
その他	176	128
営業外収益合計	619	791
営業外費用		
支払利息	115	81
固定資産賃貸費用	184	281
為替差損	—	162
その他	101	124
営業外費用合計	401	650
経常利益	1,345	1,808
特別利益		
固定資産売却益	1	59
投資有価証券売却益	0	—
貸倒引当金戻入額	—	11
退職給付信託設定益	1,522	969
特別利益合計	1,524	1,039
特別損失		
固定資産除売却損	68	95
投資有価証券売却損	7	—
投資有価証券評価損	0	8
退職給付費用数理差異償却額	1,339	1,123
事業構造改善費用	—	287
研究開発費処理の変更に伴う損失	240	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	62
その他	—	24
特別損失合計	1,656	1,602
税金等調整前四半期純利益	1,213	1,245
法人税等	714	504
少数株主損益調整前四半期純利益	—	740
少数株主利益	24	21
四半期純利益	474	719

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,213	1,245
減価償却費	3,985	3,861
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3	△9
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△325	△684
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△34	△4
受取利息及び受取配当金	△228	△222
支払利息	115	81
固定資産除売却損益 (△は益)	67	36
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	6	8
退職給付信託設定損益 (△は益)	△1,522	△969
退職給付費用数理差異償却額 (△は益)	1,339	1,123
研究開発費処理の変更に伴う損失	240	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	62
事業構造改善費用	—	287
その他の損益 (△は益)	39	52
売上債権の増減額 (△は増加)	578	△2,442
たな卸資産の増減額 (△は増加)	895	△657
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	103	190
仕入債務の増減額 (△は減少)	117	730
預り敷金及び保証金の増減額 (△は減少)	△118	△47
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△712	△293
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△0	△12
小計	5,757	2,336
利息及び配当金の受取額	228	221
利息の支払額	△107	△67
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	503	△325
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,382	2,165
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産の取得による支出	△4,164	△4,044
固定資産の売却による収入	15	69
固定資産の除却による支出	△21	△45
投資有価証券の取得による支出	△101	△22
投資有価証券の売却による収入	19	—
貸付金の増減額 (△は増加)	△4	7
その他	33	57
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,223	△3,977

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	△5,677	3,462
長期借入れによる収入	2,700	2,900
長期借入金の返済による支出	—	△1,300
配当金の支払額	△1,960	△1,469
自己株式の取得による支出	△9	△1,163
その他	△18	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,965	2,402
現金及び現金同等物に係る換算差額	77	△86
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,730	504
現金及び現金同等物の期首残高	7,859	5,496
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	51	0
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,179	6,001

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）

（単位：百万円）

事業区分 項 目	アパレル事業	機能ソリューション事業	ライフクリエイイト事業	計	消去又は全社	連 結
I 売上高及び営業損益						
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	39,520	22,899	5,996	68,416	-	68,416
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	74	71	594	740	(740)	-
計	39,594	22,970	6,591	69,156	(740)	68,416
営業費用	38,524	21,854	5,954	66,333	955	67,288
営業利益	1,070	1,115	637	2,823	(1,695)	1,127

(注) 1. 事業の区分は、製品の種類・性質及び製造方法・販売方法の類似性に基づき分類しております。

2. 各区分の主な製品等は下記の通りであります。

アパレル事業……………インナーウェア、レグウェア、アウターウェア、テキスタイル、繊維資材

機能ソリューション事業……………プラスチックフィルム、エンジニアリングプラスチック、電子部品、  
機械、メディカル材料等

ライフクリエイイト事業……………不動産の賃貸及び売買、緑化樹木、スポーツクラブの運営管理等

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（平成21年4月1日から平成21年9月30日まで）

本国以外の国または地域に所在するセグメントの売上高は、全セグメントの売上高合計の10%未満であるため、その記載を省略しております。

【海外売上高】

	前第2四半期連結累計期間 〔自平成21年4月1日〕 〔至平成21年9月30日〕
I 海外売上高(百万円)	7,910
II 連結売上高(百万円)	68,416
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.6

(注) 1. 海外売上高は、当社及び連結子会社の本国以外の国又は地域における売上高であります。

2. 各国又は地域ごとの海外売上高は連結売上高の10%未満であるため、一括して記載しております。

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別に事業部門を置く組織形態（カンパニー、事業部等）をとっており、各事業部門は取り扱う製品について戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「アパレル事業」、「機能ソリューション事業」及び「ライフクリエイト事業」の3つを報告セグメントとしております。

「アパレル事業」は、衣料品及び繊維資材の製造・販売を行っております。「機能ソリューション事業」は、プラスチックを加工した機能資材、メディカル材料、機械類の製造・販売を行っております。「ライフクリエイト事業」は、商業施設の運営、スポーツクラブの運営、緑化樹木の販売を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日まで）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	アパレル事業	機能ソリューション事業	ライフクリエイト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,590	24,592	6,045	67,228	-	67,228
セグメント間の内部 売上高又は振替高	91	80	451	622	△ 622	-
計	36,682	24,672	6,497	67,851	△ 622	67,228
セグメント利益	504	2,159	664	3,328	△ 1,660	1,667

(注)1. セグメント利益の調整額△1,660百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

#### 4. 補足情報

##### (1) 生産、受注及び販売の状況

###### ① 生産実績

(単位：百万円)

事業区分	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
	〔自平成21年4月1日〕 〔至平成21年9月30日〕	〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年9月30日〕
アパレル事業	25,205	22,256
機能ソリューション事業	17,898	18,575
合計	43,103	40,831

(注)1. 上記金額は、製造原価ベースで表示しており、外注生産高を含んでおります。

2. 上記生産実績以外に、下記の商品仕入高があります。

(単位：百万円)

事業区分	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
	アパレル事業	2,694
機能ソリューション事業	339	275
ライフクリエイト事業	1,087	1,070
合計	4,121	3,998

3. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

###### ② 受注実績

当社及び連結子会社は、機能ソリューション事業に含まれる機械類を除き、原則として見込生産であります。機能ソリューション事業に含まれる機械類の受注高及び受注残高は下記の通りであります。

(単位：百万円)

事業区分	前第2四半期連結累計期間		当第2四半期連結累計期間	
	〔自平成21年4月1日〕 〔至平成21年9月30日〕		〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年9月30日〕	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高
機能ソリューション事業に含まれる機械類	1,138	882	1,015	539

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

###### ③ 販売実績

(単位：百万円)

事業区分	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間
	〔自平成21年4月1日〕 〔至平成21年9月30日〕	〔自平成22年4月1日〕 〔至平成22年9月30日〕
アパレル事業	39,594	36,682
機能ソリューション事業	22,970	24,672
ライフクリエイト事業	6,591	6,497
小計	69,156	67,851
内部売上消去	△ 740	△ 622
合計	68,416	67,228

(注) 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 四半期決算補足説明資料

**2010年度 第2四半期 連結決算概要**

(1) 当第2四半期(6ヶ月)の業績等

項目	当期実績 ( '10/4-9)	前年同期 ( '09/4-9)	増減
			上段( )は 増減率
売上高	67,228	68,416	(△1.7) △1,187
営業利益	1,667	1,127	(47.9) 540
経常利益	1,808	1,345	(34.4) 463
税金等調整前 四半期純利益	1,245	1,213	(2.6) 31
四半期純利益	719	474	(51.7) 245
総資産	168,463	177,826	(△5.3) △9,362
たな卸資産	30,358	34,251	(△11.4) △3,892
固定資産	97,990	104,057	(△5.8) △6,067
純資産	112,310	117,955	(△4.8) △5,644
金融収支 (受取利息・配当)	140 (222)	113 (228)	27 (△6)
(支払利息)	(△81)	(△115)	(33)
設備投資	2,958	2,526	432
減価償却費	3,861	3,985	△124

<業績概況>

- ・売上高：対前年同期 1.7%の減収
- ・アパレル事業が市場競争激化や個人消費の低迷などにより苦戦したものの、機能ソリューション事業の業績が需要回復により改善したことから、営業利益、経常利益及び四半期純利益は対前年同期2ケタ増益

<特別処理>

- ・退職給付費用数理差異償却損 11億円
- ・退職給付信託設定益 9億円

<通期予想>

- ・増収増益の見込  
(対前期比)  
売上高1.9%増、営業利益78.3%増、  
経常利益50.0%増、当期純利益137.8%増
- ・年間配当は、1株当たり7円50銭を予定

(注) 自己株式の取得等の状況

	(株数)	(金額)
・取得した自己株式(単元未満株式買取含む)	4,013 千株	1,163 百万円
・処分した自己株式	△6 "	△3 "
・前期末に保有していた自己株式	12,730 "	6,089 "
・当期末に所有している自己株式	16,738 "	7,249 "

(2) 事業のセグメント別業績

(単位：百万円)

項目	当期実績 ( '10/4-9)		前年同期 ( '09/4-9)		増減	
	金額	ウエト	金額	ウエト	金額	増減率
	売上高					
アパレル	36,682	54.1	39,594	57.3	△2,912	△7.4
機能ソリューション	24,672	36.4	22,970	33.2	1,702	7.4
ライフクリエイト	6,497	9.5	6,591	9.5	△94	△1.4
小計	67,851	100.0	69,156	100.0	△1,305	△1.9
消去	△622		△740		118	-
連結計	67,228		68,416		△1,187	△1.7
営業利益						
アパレル	504	15.1	1,070	37.9	△566	△52.9
機能ソリューション	2,159	64.9	1,115	39.5	1,044	93.6
ライフクリエイト	664	20.0	637	22.6	27	4.2
小計	3,328	100.0	2,823	100.0	505	17.9
消去・全社	△1,660		△1,695		35	-
連結計	1,667		1,127		540	47.9

(3) 主要経営指標

項目	当期実績 ( '10/4-9)	前年同期 ( '09/4-9)	増減
総資産			
営業利益率%	1.0	0.6	0.4
総資産			
経常利益率%	1.1	0.7	0.4
売上高			
営業利益率%	2.5	1.6	0.9
売上高			
経常利益率%	2.7	2.0	0.7
自己資本			
比率%	66.2	65.9	0.3
自己資本			
四半期純利益率%	0.6	0.4	0.2
一株当たり			
四半期純利益円	3.68	2.41	1.27
潜在株式調整後			
一株当たり			
四半期純利益円	3.67	2.40	1.27
一株当たり			
純資産円	577.08	593.84	△16.76

(4) キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

活動区分	当期実績 (’10/4-9)	前年同期 (’09/4-9)	増減	当期(’10/4-9)の主たる内訳
営業活動によるCF	2,165	6,382	△4,216	税金等調整前四半期純利益 1,245、減価償却費 3,861、 売上債権の増加額△2,442
投資活動によるCF	△ 3,977	△ 4,223	246	固定資産の取得△4,044
財務活動によるCF	2,402	△ 4,965	7,368	短期借入金及びCPの増加3,462、長期借入れによる収入 2,900、 配当金支払△1,469、長期借入れの返済による支出△1,300 自己株式の取得による支出△1,163
換算差額	△ 86	77	△163	
現金及び現金同等物の 期中増加高	504	△ 2,730	3,235	
連結の範囲の変更に 伴う増加	0	51	△50	
現金及び現金同等物の 期末残高	6,001	5,179	821	

(5) 事業部門の設備投資及び減価償却費

(単位：百万円)

項目	当期年間計画			前年通期		対前期	
	金額	ウエト	うち2Q累計	金額	ウエト	増	減
設備投資	(うち海外)	(700)		(220)	(436)		
	アパレル	2,400	18.6	852	1,163	23.5	1,237
	(うち海外)	(1,500)		(58)	(230)		
	機能ソリューション	8,000	62.0	574	2,735	55.3	5,265
	(うち海外)	(0)		(0)	(0)		
	ライフクリエイト	600	4.7	95	111	2.2	489
全社	1,900	14.7	1,437	933	19.0	967	
(うち海外)	(2,200)		(278)	(666)			
合計	12,900	100.0	2,958	4,944	100.0	7,956	
減価償却費	アパレル	2,000	23.0	934	2,152	26.3	△152
	機能ソリューション	4,200	48.3	1,746	3,862	47.3	338
	ライフクリエイト	1,300	14.9	652	1,349	16.5	△49
	全社	1,200	13.8	529	804	9.9	396
	合計	8,700	100.0	3,861	8,169	100.0	531

(注1) 設備投資額は建設仮勘定からの編入ベース。

(注2) 設備投資額には無形固定資産を含む。

(6) 通期業績予想

(単位：百万円)

項目	当期予想	前年通期	増減 (上段( )は増減率)
売上高	140,800	138,116	(1.9) 2,684
営業利益	3,500	1,963	(78.3) 1,537
経常利益	3,800	2,534	(50.0) 1,266
当期純利益	2,000	841	(137.8) 1,159

(7) 事業の種類別セグメント業績予想

(単位：百万円)

項目	当期予想		前年通期		増減		
	金額	ウエト	金額	ウエト	金額	増減率	
売上高	アパレル	76,100	53.5	79,278	56.9	△3,178	△ 4.0
	機能ソリューション	52,200	36.7	46,493	33.3	5,707	12.3
	ライフクリエイト	13,900	9.8	13,735	9.8	165	1.2
	小計	142,200	100.0	139,507	100.0	2,693	1.9
消去	△ 1,400		△ 1,390		△10	-	
連結計	140,800		138,116		2,684	1.9	
営業利益	アパレル	1,530	21.5	1,527	27.5	3	0.2
	機能ソリューション	4,030	56.8	2,542	45.6	1,488	58.5
	ライフクリエイト	1,540	21.7	1,501	26.9	39	2.6
	小計	7,100	100.0	5,571	100.0	1,529	27.4
消去・全社	△ 3,600		△ 3,608		8	-	
連結計	3,500		1,963		1,537	78.3	